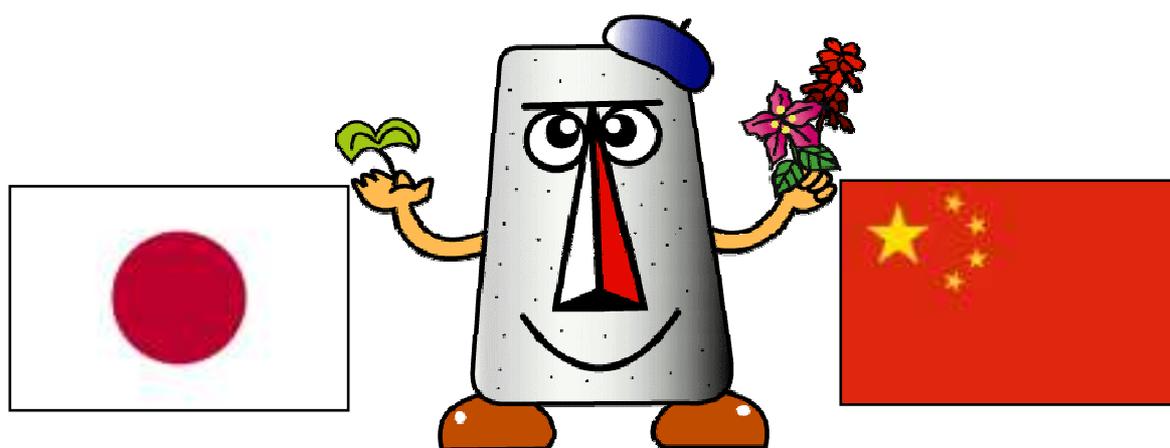


日中国交正常化40周年記念  
日中友好交流都市中学生卓球交歓大会  
報告書



開催日：2012年8月17日(金)～8月20日(月)

会場：中国オリンピックセンター体育館

## 目 次

◆宇部市・威海市選手団名簿	．．．．． P 2
◆日 程	．．．．． P 3
◆大会開催要項（抜粋）、試合結果	．．．．． P 4
◆派遣生徒報告	．．．．． P 5
小野中学校 田中 佳浩	
楠中学校 山本 真帆	
◆引率教諭報告	．．．．． P 7
小野中学校 坂本 敏昭	

## 宇部市・威海市選手団名簿

### 威海市選手団

選手（男子） 杜海洋（とかいよう） 新都中学校

（女子） 叢佳雯（そうかぶん） 新都中学校

引率 董華偉 新都中学校 体育教師

市随行 賽世平 威海市人民政府外事弁公室

### 宇部市選手団

選手（男子） 田中 佳浩（たなかよしひろ） 宇部市立小野中学校第3学年

（女子） 山本 真帆（やまもと まほ） 宇部市立楠中学校第3学年

引率 坂本 敏昭 監督 宇部市立小野中学校 教諭

引率 白石 勝己 市随行 宇部市国際政策課 課長



前列左から、山本 真帆、杜海洋、田中 佳浩、叢佳雯  
後列左から、賽世平、白石勝己、坂本敏昭、董華偉

## 宇部市選手団日程表

	月 日	時 間	日 程
1	8月16日(木)	10:00 12:00 15:10 18:30 20:30	宇部市発 市公用車にて 福岡空港着 CA954 便で北京へ 北京空港着 送迎車でホテルへ 監督会議 (宿泊ホテル) 監督と通訳が出席
2	8月17日(金)	終 日	卓球交歓大会 (中国オリンピックセンター体育館) 10時 開会式(入場行進、中国国際級選手の模範試合) 午後 全チーム卓球練習
3	8月18日(土)	終 日	卓球交歓大会 (中国オリンピックセンター体育館) 第1段階試合(宇部-威海の第1試合は8時30分から) 全体を5つのブロックに分け、各ブロックで参加チームをグループ分けし、グループごとにリーグ戦を行い、グループでの順位を決定。
4	8月19日(日)	終 日	卓球交歓大会 (中国オリンピックセンター体育館) 第2段階試合 (宇部-威海は予選で敗退したため、終日社会見学) 各グループの1位と2位がトーナメント戦を行い、各ブロックで優勝チームを決定 (優勝チームは合計5チーム)
5	8月20日(月)	午前～ 17:00～	全員で「万里の長城」観光 (昼食：現地) 人民大会堂にて、表彰式及び記念宴会・閉会式
6	8月21日(火)	6:00 10:05 15:30 17:00	送迎車で北京空港へ CA953 便で福岡空港へ 福岡空港着 (市公用車にて宇部市へ) 宇部市到着



## 大会開催要項（抜粋）

- 1 開催趣旨 日中国交正常化 40 周年を記念し、日中両国の中学生による卓球交歓大会を通じて、両国の友好都市、友好交流都市の地域間の友好関係とスポーツ界の相互交流の発展を促進し、とくに 21 世紀を担う青少年の友好交流の輪を大きく広げることを目的とします。
- 2 主催団体 日本側 公益社団法人日中友好協会、  
財団法人日本卓球協会  
中国側 中日友好協会、中国卓球協会
- 後援 総務省、文部科学省、外務省、財団法人自治体国際化協会、  
財団法人日本体育協会、全国知事会、全国市長会
- 3 参加チーム 全 83 チーム

### 試合結果 第 4 ブロック 第 5 組

#### 予選リーグ戦

「宇部－威海」対「彦根－湘潭」	2 : 3 で「彦根－湘潭」の勝ち
「宇部－威海」対「寧波－上田」	1 : 4 で「寧波－上田」の勝ち
「寧波－上田」対「彦根－湘潭」	3 : 2 で「寧波－上田」の勝ち

#### 決勝トーナメント進出戦

「寧波－上田」	予選 1 位通過
「彦根－湘潭」	予選 2 位通過
「宇部－威海」	予選敗退



開会式で整列する選手団

「日中友好交流都市中学生卓球大会」に参加して

小野中学校 田中 佳浩

今年は、日中国交正常化40周年で、中学生卓球交歓大会が中国の北京で行われました。僕は楠中学校の山本さんと一緒に宇部市の代表選手になり、宇部市と友好都市の威海市の中学生とチームを組むこととなりました。



予選は3チームのリーグ戦です。1試合目、僕はダブルスとシングルスに出ました。ダブルスは中国の女子とペアを組んで望みました。1セット目はなかなかコミュニケーションが取れなくてダメダメだったけど、2セット目からはだんだんコミュニケーションが取れるようになってきて点も取れるようになったけれど、0対3で負けてしまいました。

シングルスでは、初めて中国選手と一対一の対戦で緊張しました。それに、ゲームカウントが2対2だったのでさらに緊張しました。1セット目と2セット目は接戦で取られてしまいました。3セット目は、何とか取ることができましたが、4セット目を接戦で取られてしまい、結局、1対3で負けてしまいました。

2試合目はシングルスだけの参加でした。対戦相手はカットマンで結果は0対3で負けてしまいました。予選で負けてしまい決勝戦には出ることができませんでした。



今回大会に参加させてもらい、試合を通じて言葉の通じない中国の人と少しでもコミュニケーションが取れたことで多少でも友好が深められたのではないかと感じると共に卓球大国の強さを体感することができました。

試合以外でも閉会式で人民大会堂での初めての中国文化に触れたり世界遺産である万里の長城を見学することができ、とてもいい勉強・体験になりました。

この大会に関わってくださった関係者の皆様々に感謝します。 「謝謝」

## 「日中友好交流都市中学生卓球大会」に参加して

楠中学校 山本 真帆

私は市の大会で実績を残しているという理由で日中友好都市中学生卓球大会に参加しないかと誘われました。初めて聞かされたとき、とても驚きました。同時にうれしかったです。私はもちろん参加することにしました。

宇部市は威海市と友好都市を結んでいるので宇部市の男女と威海市の男女でチームを組みました。1日目は、開会式があり、その後練習がありました。私は、約二週間練習がなかったので感覚を思い出すので精一杯でした。ふと周りを見ると、上手な人たちがたくさんいました。私はなんかそのとき突然緊張してきました。2日目は、大会が実際に始まりました。私のチームの1試合目は、中国のしょうたん市と日本の彦根市のチームでした。私はその試合で、一番最初に出ました。ただでさえすぐ緊張するのに、1試合目の1番目でもものすごく緊張しました。しかし、ものすごく競って勝つことができました。ミスはたくさんあったけど、サーブが効いたのと、相手の中国人がいらいらしていたことで勝てたと思います。2試合目は、中国の湘潭市と日本の上田市のチームとでした。今度はダブルスで威海市の男子と出ました。相手は強くて負けてしまいました。この試合ではグループで順位を決めて、1位と2位が上に



いけるのですが、私のチームは3位だったので、上にいけませんでしたが、中国の人とも、日本の違う県の人とも友達になれてうれしかったです。後、上手な人のコース選びや、技術を見ることができたので、次の試合に生かしたいと思っています。とてもよい経験になったと思います。

「日中友好交流都市中学生卓球大会」に参加して

小野中学校 教諭 坂本 敏昭

中国に「行ってみなくては分からなかった」ことがたくさんありました。

この大会の直前に行われたロンドンオリンピックでは、中国が圧倒的な強さを発揮し、男女団体はアベック金メダル、男女個人は金銀独占を達成しました。長らくこの状態が続いています。開会式の挨拶の中でもこのことが話題に上がっていました。卓球は、心の動きがはっきりとプレーに現れることから、メンタルスポーツと言われていています。大会の中で、特に中国選手の一生懸命のプレーを見たいと考えていました。そこで、今回の派遣に際し中国の中学生（中国では初中生）を見極め、その原動力を探ることを課題にしました。

いよいよ大会が始まり、「さぞ強いのでは」と思っていた中国人選手でしたが、日本人選手1人目の山本選手が中国人女子選手に勝つという意外な金星を挙げることができました。我慢と粘りが要求される質の対戦でしたが、相手が集中力を維持できなかつた様子です。対戦全体では負けましたが、その他の試合内容もよく似たところがある接戦でした。国が違っても、やはりティーンエイジャーということなのでしょう。全体的には、自己のモチベーションを高め、持てる力を発揮するための力量はあまり変わらないように感じました。日中ともに、中学校の教師は共通の課題を抱え、日々指導に奮闘している様子が推察されます。オリンピックでの中国の活躍は、国を挙げての選手育成と競技力向上の大規模なシステムがあること、競技人口の多さと技術力に裏付けられた伝統が大きな要素であるように思われます。

威海市の選手団とは宿泊施設が同じで食事と一緒にすることができました。ただ、言語の壁から細かいニュアンスまではコミュニケーションができません。中学生の生徒同士は話しかけることもできないようでした。ただ、バスの座席などでも男子同士・女子同士が必ず隣り合って座っている姿はほほえましく見えました。交流しようとする気持ちはあった



のでしょう。日が経って慣れてくると、お互い共同して食事を取り合ったりしていました。日本人同士の交流も盛んに行われており、たくさんの友人を作っていました。思わぬところで思い出話に花が咲くことなのでしょう。日中友好と日日友好は十分に果たせたといえます。

最後に、多大なお世話をいただいた関係者の方々の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。